

早議論の餘地がない。

結党の失敗、準備會の解散等ことごとく折角の期待を破られた舊黨員大衆は更に又労農同盟の如き無謀極る方針を興へられ、今や抜き差しならぬ

窮地に因迷してゐる。

この時敢て起つて本部が今日まで犯して来た運動の根本的誤りを批判し清算し、労農同盟の運動を改録し

現下の社會情勢に即したる合法的大衆的尤翼共
同戦線党の再組織を言明したる水谷神田兩氏の一派であるが、この正しき運動方針は尙多くの

共鳴者を得て、直ちに合法党の組織運動に發展し爾來実行委員をあげて綱領、政策、規約、党名等の起草審議を續けて来たが、愈々機が熟したので

十七日夜水谷代議士宅に於て其の結党式を擧げ

その名も労農大衆党と決定して無事結党を終了した。労働農民党解散以来茲に十ヶ月、その勇敢な戦闘力を誇つた全國の地盤が中央本部の極大的指導に譲られ、今や日一日と荒廢しつつある時、舊党第一の地盤と謂はれた京都に於て茲に労農大衆党として復活した事は實に全日本の尤翼政党に取つて特筆すべき歴史的事件である。